

九州帝国大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520353>

出版情報：九州大学新聞. 156, 1936-11-06. 九州帝国大学法文会新聞部
バージョン：
権利関係：



九州帝國大學農學部
創立當時の回顧

加藤茂苞

[illegible]

法文
學部
講義の思出

三瀕信三

予が醫學部教授として歸國に際してしたのは大正五年二月であつたが、本書編輯部の人等から、醫學部の一室に借りて『三才圖會』等、共に體立の協定として、三月一日に醫學部監事の號稱として、醫學部監事の小號が出来るに、事務の爲め、四月十一、二日に、醫學部を兼ね、職入、職出の事務を分擔したの事、受驗者數數十名を中

盛想といふことになり、先年數多の法學部教授、事務、庶務、探が大學大原監事、監事等の方面から轉じて、山田三三博士と私が、田澤氏に引こつたこと、田澤氏に引こつた大學の總長に就任したため、私が行つ

取選らされて、九年任を命ぜられたので、その當分の責任も負任になり、又選給じゐた法學部の経営者も、大いに當惑をされたために、大體な數年をすくになつて、その後任は四月九日、田澤氏の後任三月三日、田澤氏辭職して

法文
學部

講義の思出

三瀨 信三

所感

小野清一郎

[illegible]

所感

矢内原忠雄

[illegible]

農學部創立の理想

田中義麿

[illegible]

福岡の思ひ出

吳建

[illegible]

創業時代を顧みて

久保猪之吉



明治四十一年一月に皇學を終へて歸朝した。そして二月十九日から歐羅巴大學（當時は東京帝國大學の二公約であった）に初めて正典神學の教壇を降した。大學の總長齋藤、市内の諸侯、旅館客はまるでなつて居た。今から

祝貴學立創第廿五周年

白木正博

永久なるべき高木大塚と十二
 五郎年の親き隣郷となし二十
 これを棄てる者の人となし見
 れば相違なきもの、自分も處で
 瀧十ヶ年暮れに親き語になつた

野郎と野郎が殊に
 野郎と野郎を語す語々、今迄
 に異常に感したるに乾乾ある
 は止めぬや、如何にして、日も早
 く理學部附の體を促進する

欲を離れべきか、惡は取り直
 けりある銀錢を一人でも多量に
 にあるであらうまいか、そしてそ
 のため如何なるの弊を顧してそ
 なたか、銀錢の爲めは貴族から賤
 現することを探察する

思ふたのか、第三者の批判に
 任せるか、職を棄てて來
 する輩との斷絶が、今は、今後一
 層斷絶がして、創立者の理想
 の實現を妨げになるまいと信ず
 る。

附屬醫院長

大森治典

る。佐藤の引継に迷走路をしながら、手にきけてある下駄を踏とこし、流された水の中へ置えて周る。島に上つて見たが、水に沈む可き足なかつたが、おさこは、おさきになつた。おさきと、おさこ

大塚先生は明治十二年に『東京大塚』明治十九年に『東京大塚』

のことも

武谷 廣

學友會、南校、北校の省にのみみれ、合のものとはとて比較にけ

谷 麿

でも比較によ

[illegible]

介紹者筆

久保猪之吉氏	本學名醫、教授	元本學、醫、教授
武谷廣氏	本學名醫、教授	元本學、醫、教授
金小野清一郎氏	日蘭八種診療學、研究科	元本學、工、教授
白木正博氏	東大教	授、元本學、法文講師
矢内原忠雄氏	東大教	授、元本學、醫、教授
田中義麿氏	本學、農、教授	授、元本學、法文講師

回顧

金子恭輔

[illegible]

學内放

青
步

[illegible]

科學二十年 (其自自然科學)



健康空氣に關する 最近の進歩

健康空氣に關する最近の進歩

人類の健康は、空氣の清浄さに依る。空氣の汚染は、人類の健康に重大な影響を及ぼす。最近の科學的進歩は、空氣の清浄化に大きく貢献した。空氣の汚染は、主に工業活動、交通手段、および家庭からの排気物による。空氣の清浄化には、排気物の削減、空氣の浄化装置の使用、および緑地の増加が効果的である。最近の科學的研究は、空氣の汚染物質が人間の健康に与える影響を明らかにし、その防止策を提議した。空氣の清浄化は、人類の健康と生活の質を向上させるための重要な課題である。

無線界 二十五年の昔と今

無線界 二十五年の昔と今

無線電の技術は、過去二十五年来、驚異的な進歩を遂げた。二十五年前は、無線電は主に船舶間の通信や遠距離の電報に使用されていた。しかし、最近の進歩により、無線電は日常生活に不可欠な存在となった。無線電の技術は、航空機のナビゲーション、放送、テレビ、そしてインターネットの基盤技術として発展した。無線電の技術は、人類の生活と社会に革命的な変化をもたらした。無線電の技術は、今後もさらなる進歩を遂げ、人類の生活と社会に貢献するであろう。

農學 二十五年前の昔と今

農學 二十五年前の昔と今

農業は人類の生活の基盤であり、その技術の進歩は人類の発展に不可欠である。二十五年前の農業は、主に経験に基づいた伝統的な方法で行われていた。しかし、最近の科學的進歩により、農業は高度な技術と機械化によって変革された。現代の農業は、遺伝子工学、化学肥料、そして精密農業などの技術を活用して、生産性を大幅に向上させた。農業の技術の進歩は、人類の食料安全保障と生活の質を向上させるために不可欠である。

農學 二十五年前の昔と今 (續)

農學 二十五年前の昔と今 (續)

農業の技術の進歩は、人類の生活と社会に大きな影響を与えた。二十五年前の農業は、主に経験に基づいた伝統的な方法で行われていた。しかし、最近の科學的進歩により、農業は高度な技術と機械化によって変革された。現代の農業は、遺伝子工学、化学肥料、そして精密農業などの技術を活用して、生産性を大幅に向上させた。農業の技術の進歩は、人類の食料安全保障と生活の質を向上させるために不可欠である。

無線界 二十五年前の昔と今 (續)

無線界 二十五年前の昔と今 (續)

無線電の技術は、過去二十五年来、驚異的な進歩を遂げた。二十五年前は、無線電は主に船舶間の通信や遠距離の電報に使用されていた。しかし、最近の進歩により、無線電は日常生活に不可欠な存在となった。無線電の技術は、航空機のナビゲーション、放送、テレビ、そしてインターネットの基盤技術として発展した。無線電の技術は、人類の生活と社会に革命的な変化をもたらした。無線電の技術は、今後もさらなる進歩を遂げ、人類の生活と社会に貢献するであろう。

無線界 二十五年前の昔と今 (續)

無線界 二十五年前の昔と今 (續)

無線電の技術は、過去二十五年来、驚異的な進歩を遂げた。二十五年前は、無線電は主に船舶間の通信や遠距離の電報に使用されていた。しかし、最近の進歩により、無線電は日常生活に不可欠な存在となった。無線電の技術は、航空機のナビゲーション、放送、テレビ、そしてインターネットの基盤技術として発展した。無線電の技術は、人類の生活と社会に革命的な変化をもたらした。無線電の技術は、今後もさらなる進歩を遂げ、人類の生活と社会に貢献するであろう。



國際法學界の回顧

大澤章

[illegible][illegible][illegible]

結果として、標準學として要約的・同様の發展となさなかつたことを認めたはならない。それと比べて、アラビア語、人種學、政治經濟學、や、キリスト主義神學、アノトローグ・フイリの標準學を以て、限することは、むしろの弊害にたいし、實するべきものかも知れない。その弊害たるや、標準學の理論をいかに科學的なるものとするに盡慮してあるところの、あるべきべき標準學の度ではつたが、いつまでも文化學、經濟學、政治學、然してゐるの點を標準とて、實するに聞かぬ。

[illegible][illegible]

最近二十五年間の
政治及び公法學界

今 中 次 磨

この公法學界が、大正七年頃より、即斷をなつてきた。この年の米騒ぎは、すでに高潮に達した際で、それ以前とこれ以後とを分けるべきである。

私法學界は、明治二十年から二十五年前と云へば殆ど大正の體裁相當してゐる。この時代の思想主流は、理

義を備へた本質法政研究六卷一號

最近、我が私法學界は、強主

はならぬ。少壮者間の群衆であらねばならぬ。□

の立場のそれやうに、社會性を重んじやうとしたら、殺戮やケルゼンやうに陥りて大亂も全く社會性を無視して社會主義を把握しようとするやうな

のあり、現實の事象を著落しはならない。國はよく、私法學として、日本の私法學たらしめよ。

まくでここに「ロギン」とある。云ふのが提せられて、に至つた「ロギン」は「ヘンレス・ロギン・イヤー」が「ロギン」の提者であるとかやうな誤解をおされ、そのまゝと題は「ロギン」である、カアル・ロギン・ヘイムの「イデオロギン」のうちに見出される「マクス・エド・ロギン」の影が、影が正しく反映された。現勢や知識、社會やも、辨はれなければならない。要するに「ロギン」が明確に「ロギン」では解せられぬ。いゝ。もし「ロギン」である。そのうち「ロギン」である。そのうち「ロギン」である。

[illegible][illegible][illegible]

すことは、きだまだ困難である。しか人々には何か保証を以て、何かが劣化することについては、今少し正しく認識を促すてよいと懇願。過去十五年の経験から、たゞこの方を攻撃して、そのダリアニシヨでなかつたことを遺憾に何らの進化すなとエゴリシヨでなかつたことを遺憾に思ふ。来べき三十五年において、脚には何らの劣化のため持たないものは何らの劣化のため、脚文を以て責をせよ。

私法發展の跡を顧みて

野

[illegible][illegible][illegible][illegible]

カットは神宮徴古館陳列大名行列

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and small dark spots, possibly due to age or handling. A vertical crease is visible near the left edge, and there are some faint, dark markings scattered across the surface.

1

卷之六

ふりてあつた。

最近二十五年度の

政治及び公法學界

[illegible]

會學のうちに、排斥せられなければならぬ。要するに、裏切られなければならない。要するに、裏に裏裏裏で裏切られてゐない。もとより、現代は過渡期である。學界も亦過渡である。そのうちから明治時代的指導運動が現出することは、まだまだ困難である。しかし人は何か保つ性には、何が過渡期を持つてゐる。今少し正しい認識を持つてよいと思ふ。明治三十五年の學界の

波佐多野 鼎氏
本學・法文・

あつた。この趨勢によつて――九世紀（西暦）におけるそれと同

[illegible]

重きを置き、學内の規律を厳かにせられたのは、俗名も嚴になつてゐる。

しかしそれは極めて自説に據はれた。蓋先生は眞に學に即敬せられてゐたので、先生は巴里大學のラッサンヌ・アンドロワで學んだ。試験も中々厳重、學生達は「カマシ」と云つて聞いてゐる中に何時しかそれが「恥」或を受けるゐるに氣がつくとい